

働きざかり世代の がんを考えよう

30日にシンポジウム

岡山県健康づくり財団

岡山県健康づくり財団（岡山市北区平田）は30日午後1時半～4時、「岡山対がんシンポジウム2015 働きざかり世代のがんを考えよう」を、ピュアリティまきび（同下石井）で開く。

岡山大病院乳腺・内分泌外科の土井原博義教授と、岡山赤十字病院緩和ケア科の渡辺啓太郎副部長が、治療法や緩和医療について詳しく解説するほか、岡山県のがん患者の現状や取り組み、看護のポイントなどについての講演もある。

申し込み不要で、参加費無料。問い合わせは同財団総務課（☎086—246—6254）。